

令和元年度第2回（第15回）洲本市子ども・子育て会議 議事録（案）

日 時：令和元年7月16日（火） 午前10時00分～午後0時00分

場 所：洲本市役所4階 401・402会議室

出席委員（10名）

松山会長、戸江副会長、阿萬田委員、三倉委員、清水委員、柳委員、三宅委員、
岡本委員、大橋委員、山本委員

欠席委員（2名）

須恵委員、稲谷委員

事務局（8名）

健康福祉部子ども子育て課：郡、山崎、近本、津司、出嶋

教育委員会教育総務課：大西

学校教育課：増井

生涯学習課：長谷

次 第 1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 洲本市子ども・子育て支援事業計画 平成30年度主な事業の実施状況
について

(2) 洲本市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

(3) 第2期洲本市子ども・子育て支援事業計画骨子（案）について

4. その他

5. 閉 会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 前回会議議事録（案）について

4. 議題

◆ (1) 洲本市子ども・子育て支援事業計画 平成 30 年度主な事業の実施状況について

(事務局より、資料 2 に基づいて説明)

会 長：幼児教育・保育について、3号認定の子どもさんの実績数が非常に多くなっていますが、31年度も同じような状況でしょうか？

事務局：本年度の4月現在の児童数は、概ね30年度に近い人数となっています。

会 長：また年度の途中で利用児童数も増えてくるかなと思いますが、洲本においては特に3歳未満時の保育のニーズが高いイメージがあります。それも踏まえて、次の計画に反映できればいいと思います。

副会長：2ページの放課後児童健全育成事業では、やはり低学年が量の見込みを上回る利用状況になっています。これは、提供体制はなんとか大丈夫だったのでしょうか？

事務局：低学年の受け入れはできています。

副会長：多くは小学校の空き教室や敷地内にプレハブなんかを建ててるのでしょうか？

事務局：洲本市では、現在のところ学校内ではあまり実施ができておりません。地域の施設や公民館などで実施しています。

副会長：資料にもありますように、児童の安全な保育環境、生活するのに安全な環境の確保を進めていただければと思います。

5ページの乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）ですが、量の見込みは276人で利用状況が226人ということは、差の50人というのは連絡がとれなかったりして訪問できなかったということでしょうか。

事務局：これは、計画で見込んでいた数値より出生数がかなり減ったために実績数が少なくなっています。

具体的な数字では、平成29年度の出生数は291人であったところが、平成30年度では237人となっています。それ以前は概ね300人前後の出生数で推移していましたが、30年度が大きく減少したため、計画と実績にも差が生じています。

副会長：では、出生数が237人で実績が226人となると、11人が訪問できなかったということでしょうか？

事務局：本事業については、子どもさんの生まれた日によっては出生の年度と訪問の年度が異なる場合があるため、出生数と実績数に多少の差が出てしまいます。現状では、すべての出生児について訪問が実施できていると確認しています。

委 員：病児・病後児保育事業の状況はどうでしょうか？もう受け入れできるのでしょうか？

事務局：実施体制の都合上、まだ受け入れはできていません。保育士の確保が難しくなっています。

委員：できるだけ早期に実施していただけるとありがたいです。

◆（２）洲本市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

（事務局より、資料３に基づいて説明）

会長：１ページ目の①の６、認可外保育施設との連携というのがありますが、この１０月から幼児教育・保育が無償化されるにあたりまして、認可外保育施設を無償化の対象とするかどうか、現在のところ洲本市ではどのようにお考えですか？

事務局：いまのところ特に制限を設ける予定はありません。島内３市の担当者間でも協議をしているところですが、何かしらの基準を定めて、基準を満たさない場合には無償化の対象としないということは、現時点では考えておりません。

会長：いちおう期間がありましたね？

事務局：５年の期間があります。

会長：その５年を過ぎれば基準を満たす満たさないという括りができてくると思いますが、現時点で基準を満たす施設が多いのか、満たしていない施設が多いのか、市でわかりますか？

事務局：これから施設を訪問して協議する予定としていますので、具体的な施設の状況はまだ把握できていません。

会長：都市圏においては、急に閉園してしまったり、保育士が足りないとか不正な需給を受けているというような事例があります。保護者の方には無償化はいいことですが、公費が投入されるという面では、監視の目を厳しくしていかなければならないのかなと思います。５年間の猶予期間はありますが、監査等で基準を満たしているかどうかの状況をしっかり見ていただければと思います。

４ページ目の道路の整備に関して、園外保育の安全点検については私の園でも実施しました。やってみるとやはり、園ではどうしようもないところはいくつかありますので、早い目に点検に来ていただいて、安全対策をとるようになっていただくとありがたいです。特に淡路島は自然豊かなところですが、そういう意味でも園外に出て自然に触れるというのが淡路島の保育の特色だと思っています。事故等の発生でそれができなくなってしまうのは非常に残念ですので、よろしくお願いします。

委員：昨日、市の文化体育館で体操のお兄さんが来られて体操教室が行われました。午

前中は数百名の親子が参加されて、一緒に体操を楽しんでいました。午後からは指導者を対象にということで、幼稚園・保育所・小学校の先生が集って、体操のことでだけでなく保護者とのコミュニケーションの取り方とかを幅広く交流して、とても貴重な機会でした。子ども・子育て支援事業と直接関係ないかもしれませんが、なかなか島外に出かけるとなると費用もかかるし時間もかかります。昨日のような学習の機会があれば、職員の資質向上につながりますので、今後もぜひ広げていただきたいと思います。

会 長：8ページの④の12、教職員の資質向上について、保育所保育指針等が改定されて保小の連絡の重要性が増しています。小学校の先生との交流というのは、公立の幼稚園は同じ教育委員会の管轄ということでこれまでも交流があったかと思いますが、我々も認定こども園になって少し教育委員会との関わりができてきていますので、小学校の先生との交流をもう少しいろいろな機会を増やしていただけたらいいかなと思います。今はまだ機会が少ないと感じています。

副会長：できれば継続的な、交流会や研究会というように、一年を通して維持していくような体制ができればいいと思います。小学校の先生も幼保のことを学んでほしいし、幼保からも、特に1年生2年生の教育の進め方を学んでいきたいと思いますので、ぜひとも継続的にできるようにしていただきたいと思います。

事務局：これまでは毎年夏休みに幼稚園の職員と小学校の教員が、体育担当者の指導ということで実技講習会を実施していました。今年度は保育所等にも参加の枠を広げて交流を深めていこうということで計画しているところです。

会 長：ありがとうございます。そのような実技面での交流も考えていただいています。実際に小学校に行ってどういうふうな生活をしているのか、また小学校の先生も保育所等の様子を知るためにも、教育・保育の中身についての継続的な交流も深めてもらえれば非常にありがたいと思います。

副会長：初めに話のあった1ページの認可外保育施設との連携ですが、原則として認可外の保育施設にも公費が投入されるということで、公費が投入されて無償化ということは小学校・中学校と原理的に同じですので、認可外保育施設の保育の質の向上を考えてもらわないといけない。保育の質を高めていくために、研修などいろいろな形で先生方の専門性のレベルアップを市としても行わなければならないのではないかと思います。これは保育所・幼稚園も同じなんですが、特に認可外施設にも公費が投入されるということを考えますと、保育の質の向上ということをしかりとしていただかないといけないと思います。

事務局：認可外保育施設の指導・監督については県が行うということになっていますが、無償化に際しまして、県・市が協力して認可外保育施設の質の向上を進めることとされています。研修等による質の向上に関しては、キャリアアップ研修を島内各市でそれぞれ実施していますので、認可外保育施設にも研修の案内を行って受講を促

すなど、質の向上に努めていただけるように進めていきたいと考えています。

会 長：キャリアアップ研修は、認可外保育施設の参加がダメということはないですか？

事務局：洲本市では昨年度もお一人だけですが認可外施設からも受講していただいています。市としては受講希望があれば対応していきたいと考えています。

会 長：5ページの障害児保育に関連してですが、洲本市ではいま医療的ケア児の受け入れはありますか？

事務局：洲本市ではありません。

会 長：今後、そのような子どもさんの利用見込みはありますか？

事務局：以前は、酸素を使う子どもさんの保育所利用について、受け入れ態勢を検討したことがあります。結果的には、常時酸素を使う必要がないという状況となってから利用を始めましたので、医療的ケアを常に必要とする子どもさんについての受け入れはありません。未就園の子どもさんでは現時点で把握はしていませんが、今後そのような相談があれば、それぞれのケースに応じて個別に受け入れ態勢を検討していくようになるかと思えます。

会 長：県でも積極的に受け入れをとという話がでますので、それに備えて態勢を整えていく必要があるかと思えます。ただ、各施設いろんな設備条件がありますので、どういう風に受け入れていくかというのは要検討かなと思えます。

9ページの①、子どもの人権を尊重する社会づくりについてですが、子どもの権利条約というのが日本では遅れているのかなと思えます。子どもの権利条約というのは私たち保育に携わる者は絶対知っておかなければならないものですが、そのあたりが欠けている部分が非常に多いので、洲本市の人権協議会などでもこのことがあまり話題になってきません。市としても、子どもの権利に関する条約、子ども憲章というのをもうちょっと普及啓発してはどうかと思えます。

今の子どもに対する価値観と私たちの世代の価値観とでは、子育てにおいても変わってきています。児童虐待防止法で親のしつけにおける虐待も禁止されるようになっていきますので、そういったことも踏まえて、子どもの人権を尊重していくべきというのを市でも推進していってほしいと思います。

会 長：いま全国的にも保育士が不足していますが、洲本市では現状どのような感じでしょうか？

事務局：洲本市でも保育士確保に非常に苦慮しています。ハローワークでもずっと募集をしていますが、なかなか来てもらえていない状況です。

会 長：認定こども園の職員の資格要件については、特例措置が5年間延長されました。保育士又は幼稚園免許の一方の資格だけで保育教諭とみなすということですが、兵庫県では資格取得の補助事業がありますので、両方の資格を持っていなくても、認定こども園での勤務をお考えの方があれば積極的にお声かけいただいて保育士等の

確保に努めていただければと思います。他の自治体では、採用においていろんな形で処遇改善をしているところがあります。何にしろ人がいないことには進みませんので、保育士確保のための施策というのを市でも検討していただければありがたいと思います。

◆ (3) 第2期洲本市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について

(事務局より、資料4に基づいて説明)

副会長：11 ページの課題3、仕事と子育ての両立支援についてのデータですが、育児休業を利用しなかった理由というのはアンケート調査で聞いていましたか？それがある
と対応策を考えるのに有効かと思いますが。

事務局：理由を聞く設問は設けていませんでした。

会 長：6・7 ページ等を見ると、洲本市は合計特殊出生率が平均より高い、女性の就業率も高い、またこれから働きたいと思っているお母さんも多いという結果がでて
います。女性が多く働いている中で出生率も高いということで、これを見て保育施設
等が整ってて預けやすいから働いているというふうにとらえていいのかなどは分
かりませんが、働きながらも出産しようと考えてくれているところがデータとして
表れているのかなと思います。できるだけ多くの方が洲本で結婚して出産してくれ
れば子どもの数が増えますので、そのあたりを充実させてPRしていければいいと
思います。洲本市では出産しても働きやすいですよ、それに対する支援も充実して
いますよというのをもう少し強調してもいいのかなと思います。淡路島は近くにお
じいちゃんおばあちゃんがいてサポートしてくれやすい部分もあるので、そういっ
た方の育児参加も含めて社会全体で子どもを支えていくということを強調して計画
に反映できればいいと思います。

また、課題4になりますが、洲本市ではせっかくいろんな施策を実施しているん
ですが、もっと周知が必要と書かれています。いまもいっぱいいろんなことをやっ
ているのに知られていないことも多いので、そういう情報が共有できればいいと思
います。

委 員：さきほどの議題で30年度の出生数の減少の話がありましたが、島内他市の状況は
どうでしょうか？同じように減っているのか、あまり変わらないのか、データはあ
りますか？

事務局：聞いている数値によりますと、洲本市と淡路市が大きく減っているように見受け

られます。

委員：出生数が減っているというのは、中には他市に人口が流れている可能性もあると思います。洲本市に住むメリットをもっと出してあげれば、そういうところも改善できるのかなと思います。

副会長：南あわじ市では出生率が1.8を超えています。何か理由があるのでしょうか？

委員：保護者の中では子育てをするのに南あわじ市のほうが支援が多いというか住みやすいというイメージがあって、そちらに行かれています方もいます。

委員：いまは同じように施策をしても、最初に始めたりというのがあって、そういうイメージがついているのかもしれませんが。

副会長：保育料の無償化も数年前にこの近辺では初めてしましたし、そういう印象があるのかもしれませんがね。

会長：経済的な援助が多いのかもしれませんが。教育・保育については洲本市が充実していると思いますが、やはりPRのしかたが大きいと思います。

5. その他

委員：今後のスケジュールについて教えてください。

事務局：9月頃に計画の素案をお諮りし、続いて11月、2月頃に開催ということで、今年度はあと3回程度お集まりいただくことを予定しています。

副会長 あいさつ

6. 閉会

以上